

友だちいっぱいチャレンジワールド

今年も11月30日に「友だちいっぱいチャレンジワールド(友チャレ)」を行いました。今年も多くのお店を回れるように「簡単」「短時間」「楽しい」を目指した出店を考えました。出店は班で協力して活動している姿がたくさん見られました。活動後、ハートカードには、同じ班の人のよさを書き、伝えることができました。新型コロナウイルス感染症の拡大が少し落ち着きを見せたタイミングで、急遽保護者向けに参観可能のご案内をさせていただきましたが、多くの保護者の皆様からご参観いただきました。ありがとうございました。



イルミネーションが完成しました

イルミネーション点灯式を行いました。点灯式では、学校運営協議会委員の菅原さんから「オーナメントにみんなのメッセージを書いてもらいました。イルミネーションが学校生活の思い出になってほしい」とお話しいただきました。夜になると、ライトアップされたオーナメントが輝きとてもきれいです。(イルミネーションは2月中旬までの毎日、16時頃から22時頃まで点灯する予定です。天候などの都合で変更になる場合もあります。)



地域を学習の素材に～総合的な学習の時間～

3年生以上で総合的な学習の時間を実施しています。学校運営協議会での熟議を踏まえて、各学年で地域素材を生かした教育活動を展開中です。新しい発見・魅力に出会えています。

人権教育、同和教育の視点に立った道徳授業研修会を開催しました

12月7日(火)、教育委員会や市内の教職員も参加した人権教育、同和教育の視点に立った道徳授業研修会が開催され、6年生の授業を公開しました。

6年生は、これまで人権学習ユニットとして道徳や社会、国語などで教科横断的に人権教育、同和教育を学んできました。今回も公開する道徳授業の前に、社会科で解放令の具体的な内容を理解した上で、人々の生活がどのように変わっていったのかを考えました。解放令は、「相手のことを考えたものではなかった」ために、差別を受けてきた人々がより苦しくなったことはもちろん、その人たちが「すべての人のための人権宣言を作る」ために勇気をもって立ち上がったことに気付きました。

公開した道徳授業では、身近で起きそうな事例を通して、「相手の気持ちを考えることの大切さ」を学び、社会科での気付きを生かして、自分の生活を振り返るきっかけにしました。振り返りには、過去の行いを反省し自分事として考え、これからの生活に生かしていこうとするものやその先を見据えた内容のものがありました。

きのと小では、今後も全学年で人権学習ユニットに取り組み、継続的な人権教育、同和教育を通して、「自分もみんなも大切に作る子どもの育成」を目指していきます。



3年生「きのとの宝を探そう」大出神社など地域の宝を見つけに行きました。

4年生「みんなに優しいまちづくり」点字について学んだり、地域のお茶の間サロンと交流するために、みんなが元気になる体操と考えたりしています。



5年生「環境・食について考える～胎内の米を中心に～」こども園に自作のお米を届けたり、地域の方とレシピづくりをしたりしました。

6年生「人から学ぶ、仕事から学ぶ」乙まんじゅう屋さんなど様々な職種の方からお話を聞き、自分の将来のためのプランを考えました。

教育広報誌「かけはし」51号が発行されました

下記のQRコードなどからご覧いただけます。

教育広報誌 令和3年(2021年)12月1日発行 vol.51

かけはし

QRコードから見る

または 新潟県 かけはし で検索

新潟県教育委員会

冬季休業中の新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる場合の連絡のお願い

冬季休業中において、ウイルス感染症に係る濃厚接触者等又はPCR検査等の対象者に特定された場合は、これまでと同様にすぐに学校へ連絡をくださいますようお願いいたします。

※夜間及び休日に関しては、

胎内市役所 43-6111 (学校教育課)

へ連絡を入れてください。